

# 教えて！ ～第3次薩摩川内市総合計画～



## 総合計画ってなに？

私たちが住む薩摩川内市をどのようなまちにするのか、長期的な視点でまちづくりの将来像を描くもので、その「羅針盤」といえるものです。市民や事業者、市が一体となってまちづくりを進めていくための、市の最も大切な計画です。

## 総合計画には何が書いてあるの？

「基本構想」といわれる、市のありべき姿やまちの目標を示した今後10年間のまちづくりの方向性を明らかにするものと、「基本計画」といわれる、基本構想を実現するために施策の方向性を示すものが書かれています。

## これまでも総合計画はあったの？

市町村合併後の平成18年に最初の総合計画を作って以来、切れ目なく総合計画を作り、それに基いてさまざまな施策を実行しています。今は、令和7年度にスタートする第3次総合計画を作るために検討作業を始めています。

## 私たちの意見や要望は反映されているの？

市民参加型の「まちづくりデザイン会議」や各地区で開催する会議、ホームページなどに寄せられる意見・提言などを計画に反映しようと準備を進めています。市は、第3次総合計画を作るには、市民の皆さんと協働して作る必要があると考えていて、地域や市民の皆さんの声を反映させるため、さまざまな広聴活動を行っています。活動内容は市の広報紙やホームページでもお知らせしています。



▲第1次総合計画  
▲第2次総合計画（前期）  
▲第2次総合計画（後期）

## 今後このような機会はないの？

市では、広く市民などの意見を聴くための広聴会を実施しています。（広聴会の日程は下段のとおり）また、パブリックコメントも実施します。（広報薩摩川内7月お知らせ版で案内予定）

### 〈これまでの主な広聴活動〉

- ◇**みらいアドバイザー**  
持続可能で魅力的なまちづくりの推進に当たり、高校生の視点からの意見・助言を求めために設置
- ◇**令和デザイントーク**  
広く市民の声を聴くため、各種団体との対話を実施
- ◇**まちづくりデザイン会議市民フォーラム**  
本市の将来像を展望し、まちづくりの方向性について検討を行う市民参加型の組織として設置



▲市ホームページ

## 〈広聴会〉

- 令和5年7月25日（火）  
18時30分～20時30分  
入来文化ホール 大ホール
  - 令和5年7月28日（金）  
14時～16時  
18時30分～20時30分  
上飯老人福祉センターホール
  - 令和5年7月31日（月）  
18時30分～20時30分  
セントピア視聴覚室
  - 令和5年8月5日（土）  
10時～12時  
サンアリーナせんだい  
研修・会議室
  - 令和5年8月7日（月）  
18時30分～20時30分  
中央公民館 大研修室
  - 令和5年8月17日（木）  
18時30分～20時30分  
SSプラザせんだい  
301・302・303会議室
- ※事前の参加申し込みは不要です。どなたでも参加できます。



## 計画は誰も審査しないの？

総合計画の策定においては、市の自治基本条例に基づいて市長の諮問（※）に応じて調査・審議する「自治総合審議会」を設置するように定めていて、6月1日に設置しました。

また、総合計画の基本構想は、議会の議決を経なければならぬこととなっていて、議会でも丁寧に審査されます。  
※諮問：意見を尋ね求めること

## 審議会ではどのような内容を話すの？

6月1日の第1回の会議では、現行の第2次総合計画の概要や今後のスケジュールの説明を行いました。

委員からは、「市民参加型のまちづくりデザイン会議は、幅広い層で構成され、とてもいいアイデアが出されている。これらのアイデアを見守り、市民と協働した計画となってほしい」といった意見が出されました。

今後審議会では、第3次総合計画を作るために審議・研究を重ねていくことにしています。



▲自治総合審議会（第1回）

市民の皆さんが、安心して住み続けられるように、みんなで意見を出し合い、将来目指すまちの姿を実現するための取り組みをまとめるのが「総合計画」です。市民や事業者、市が長期的な展望に立って、お互いを尊重しながら、それぞれの役割と責務を認識し、協働してまちづくりを進めましょう。



▲総合計画市ホームページ

## 問合先／本庁企画政策課 政策G（内線4831）



## VOL.22 防災トピックス

### 地域防災機能の充実のために 自主防災組織を結成しよう！

#### 自主防災組織の役割とは？

災害は、道路の寸断、建物倒壊、停電など多岐にわたり、防災関係機関の活動だけでは十分に対応できない場合もあります。そこで、市民の皆さんが協力し、自分たちの地域は自分たちで守ろうという、地域ぐるみの防災活動が重要になります。

#### 前講座や防災研修センターを活用しよう

市では、災害について学び、地域のことをより理解し、その知識を生かすための出前講座を行っています。申込方法などについては、広報薩摩川内6月通常版「まちづくり出前講座」のページをご確認ください。

#### 自主防災組織を作る

自主防災組織作りには自治会、地区コミュニティ協議会など地域の組織を活用し、防災部を設置するなど、その地域の実情に合わせて活動しやすい組織を作ることが重要です。

#### 地域の防災力を高めるために

#### ① 自主防災組織の訓練に出

また、消防局の防災研修センターでは、地震の揺れや水消火器を使った初期消火訓練などが体験できます。14ページ「みんなの119」でも紹介していますのでご覧ください。



▲広報薩摩川内6月通常版



▲防災に関する出前講座の様子

#### ② 地域防災組織育成事業を活用しよう

一般財団法人自治総合センターの地域防災組織育成事業では、1件につき、30万円から200万円の資材購入のための助成制度があります。

本年度の募集は終了していますが、令和6年度に助成制度を活用して事業の実施を希望する際は必ず事前に市へご相談ください。